

# 原稿執筆の要領

## 1. 投稿原稿の構成

### 1) 和文の場合

- (1) 原著論文および研究報告は 16,000 字以内（図表、文献を含む）、その他は 8,000 字以内（図表、文献を含む）とする。適切な行間をあける。
- (2) 図表 1 枚につき 400 字換算で計算し、文字数との合計が制限字数を超えない。
- (3) 表紙には和文表題、論文希望種別、原稿枚数と図表の数を明示する。
- (4) 原著論文と研究報告には英文表題、250 語以内の英文抄録と英語と日本語のキーワードを 5 語以内でつける。

### 2) 英文の場合

- (1) 原著論文 (original article) および研究報告 (research report) は 5,000 語以内（図表、文献を含む）、その他 (Others, 資料含む) は 3,500 語以内（図表と文献を含む）とする。
- (2) 図表 1 枚につき 160 語換算で計算し、論文語数との合計が制限語数を超えない。
- (3) 表紙には英文表題、論文希望種別、原稿枚数と図表の数を明示する。
- (4) すべての投稿原稿に和文表題、400 字以内の和文抄録と英語、日本語のキーワードを 5 語以内でつける。

- 3) 和文の場合の英文表題、英文抄録および英文の投稿原稿については、投稿前に必ずネイティブチェックを受けておくこと。

## 2. 論文の書き方

### 1) 和文の場合

- (1) 原稿はワードプロセッサで作成する。A4 版横書きとする。本文および原稿末文献リストの句読点は、「、」や「。」ではなく、「, (全角読点)」 「. (全角句点)」とする。本文に、原稿の下部中央にページ番号を付け、表紙、英文抄録、図表はページ番号を付けない。
- (2) 外国語はカタカナで、外国人、日本語訳が定着していない学術用語などは原則として活字体の原綴で書く。
- (3) 本文及び抄録の中で頻回に使用される語は、略語を用いてもよいが、最初のときは正式の語を用い、(以下・・・・と略す) と記載する。
- (4) 本文は、はじめに (Introduction)、方法 (Methods)、結果 (Results)、考察 (Discussion)、おわりに・結論 (Conclusion)、文献 (References) など項目を立てて記載する。但し、投稿者を特定することがないように、謝辞 (Acknowledgement) は、掲載決定後に本文に記載する。
- (5) 図、表および写真は、図 1 (Figure 1)、表 1 (Table 1)、写真 1 等通し番号をつけ、本文とは別に一括し本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を朱書きする。

### 2) 英文の場合

- (1) 原稿はワードプロセッサで作成する。A4 版横書きとする。Times New Roman の 12 ポイントのダブルスペース (Double-spacing) で作成し、適切な行間をあける。
- (2) その他の書き方は、和文の (3) ~ (5) に準じる。

**3. 著者は、利益相反 (Conflict of Interest : COI) を引き起こす可能性がある資金提供や雇用関係を開示しなければならない。開示 (Disclosure) はすべて本文の末尾に記述する。**

例：利益相反なしの場合

「本研究に関して、開示すべき利益相反状態は存在しない。」

「The authors have no financial conflicts of interest to disclose concerning the study.」

例：利益相反を有する場合

「本研究は、〇〇〇〇（企業・団体名など）より助成を受けた。」

「The authors have financial conflicts of interest to disclose concerning the study. This study was supported by the 〇〇〇〇 Foundation for Health.」

**4. 文献の記載方法は下記に従う。**

- 1) 文献については、本文中に著者名、西暦発行年を括弧表示する。
- 2) 文献は著者名のアルファベット順に列記する。共著者は全員表記する。
- 3) 文献リストは、和文文献の場合にはローマ字および数字は半角文字を使用し、半角文字に挟まれる「-」や「( )」「」は半角記号とする。英文文献の場合はすべて半角文字を使用し、雑誌名および書籍名をイタリックで表示する（注意：和文文献の場合は斜字体にしない）。
- 4) 雑誌名は原則として省略しない。誌面の都合等で省略しなければならない場合は、和文誌では医学中央雑誌、英文誌では、INDEX MEDICUS および INTERNATIONAL NURSING INDEX の雑誌略名に従う。

**【雑誌掲載論文】**

著者名（西暦発行年）. 表題. 雑誌名, 巻（号）, 開始ページー終了ページ.

例 1：日本太郎, 看護花子, 研究二郎 (1998). 社会的支援が必要な高齢入院患者の特徴. 日本高齢者学会雑誌, 2 (1), 32-38.

例 2：Vega K.J., Pina I., Krevsky B. (1996). Heart transplantation is associated with an increased risk for pancreatobiliary disease. *Annals of Internal Medicine*, 124, 980-983.

**【単行本】**

著者名（西暦発行年）. 書籍名（版数）. 引用箇所の開始ページー終了ページ, 出版社名, 発行地.

例 1：研究太郎 (1995). 看護基礎科学入門. 23-52, Research Press, Osaka.

例 2：Ringsven M.K. & Bond D. (1996). *Gerontology and leadership skills for Nurses*, 2nd ed. Albany, NY: Delmar Publishers.

**【分担執筆の文献で著者と書籍に編者（監修者）が存在する場合】**

著者名（西暦発行年）. 表題, 編集者名（編）: 書籍名, 引用箇所の開始ページー終了ページ, 発行地: 出版社名.

例 1：研究花子 (1998). 不眠の看護. 日本太郎, 看護花子（編）: 臨地看護学Ⅱ. 123-146, 東京: 研究学会出版.

例 2：Phillips S.J. & Whisnant J.P. (1995). Hypertension and stroke. In: J.H.Laragh & B.M. Brenner (Eds), *Hypertension: Pathophysiology, diagnosis, and management* (2nd ed., pp.465-478). New York: Raven Press.

### 【翻訳書】

原著者名(原著発行年)／訳者名(翻訳書発行年). 翻訳書名(版数). 引用箇所の開始ページー終了ページ, 発行地: 出版社名.

例: Walk, L.O., & Abant, K.C. (2005) / 日本太郎・看護花子訳 (2008). 看護における研究計画書の立案の方法. 77-79, 東京: 朝日書院.

### 【英文投稿する際の英文表題のない日本語論文の書き方】

英文表題のない日本語の論文は, 英語に翻訳し最後に「(in Japanese)」をつける.

例: Kondoh Y. (2001). Effects of flexed posture with boundaries following endotracheal suction in very low birth weight infants. *Journal of Japan Academy of Nursing Science*, 21(3), 11-20. (in Japanese)

### 【オンライン文献】

著者名 (入手年月日). 表題, URL.

例 1: ABC 看護学会 (2014-05-05). ABC 看護学会投稿マニュアル.  
<http://www.abc.org/journal/manual.html>

例 2: Ministry of Internal Affairs and Communications with the collaboration of Ministries and Agencies. (2012). Japan in figures and graphs.  
[Cited 27 Mar 2012.] Available from URL: [stat.go.jp/SG1/estat/GL36010101.do1\\_toGL36010101\\_](http://stat.go.jp/SG1/estat/GL36010101.do1_toGL36010101_)

### 【ホームページの場合】

参照したホームページのタイトルまたはそれに相当するもの. URL, 閲覧した年月日.

例: 朝日大学なんでもサイト. <http://www.alice.com>, 2014-05-05.